

2016年度県内主要スキー場利用動向調査（速報）

『昨シーズンに比べ増加するも、シーズン当初の雪不足により一昨年度の水準には及ばず』

○ ポイント

- ・2016年度の県内主要23カ所のスキー場利用者数は、シーズンを通じ雪不足の影響を受けた前年度を5.6%上回り、延べ482万8千人となった。ただし、500万人程度で推移していた12～14年度の水準には及ばなかった。
- ・調査対象とした23カ所のスキー場のうち、17カ所のスキー場で前年度と比べて利用者数が増加した。
- ・月別にみると、12月は、雪不足の影響等により半数近くのスキー場で利用者数が前年比で減少したものの、降雪に恵まれた1月以降は、多くのスキー場で利用者数が前年比で増加した。
- ・前年の雪不足を受けて人工降雪機を増設する等の対策をとり、シーズン当初など雪量が不安定となりやすい時期の雪量を確保したスキー場もあった。
- ・2016年1月に起きた軽井沢スキーバス転落事故の影響から、若年層を中心としたツアーバスの団体客が、昨シーズンに引き続き低い水準となったスキー場もあった。
- ・外国人利用者は、オーストラリアのほかアジア諸国を中心に引き続き堅調に推移した。台湾や中国、東南アジア諸国などアジア系の利用者数が前年度より伸びたスキー場もみられた。

〔月別の動向〕

- ・12月は、雪不足の影響等から、大北地域を中心に利用が低調だったスキー場が半数近くあり、利用者数は前年よりさらに減少した。
- ・1月は、初旬まで雪不足が続いたものの中旬以降は十分な積雪を確保できたスキー場が多く、前年に比べて利用者数も増加した。
- ・2～3月は、週末の好天や十分な積雪により、利用者数は前年に比べて増加した。特に3月は、暖冬の影響を受けて前倒しで営業を終了するスキー場もみられた前年に比べて、大幅な増加となった。

【調査の概要】

1. 調査対象

当研究所が毎年、定点調査している県内の主要スキー場23カ所（県内入り込み全体のおよそ7割に相当）

2. 調査対象期間

2016年度のオープン～2017年3月31日まで

3. 調査方法

当該スキー場ないしスキー場を管轄する市町村に調査票を配布・回収した。

4. その他

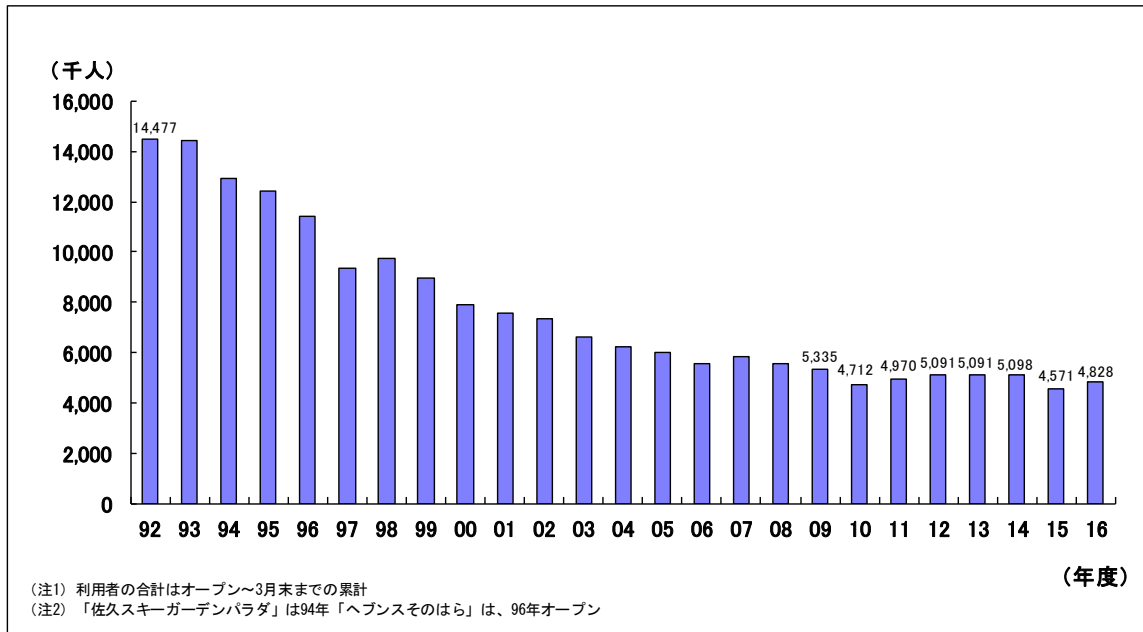
詳細な分析については「経済月報6月号」に掲載予定

照会先 長野経済研究所
調査部 村田・徳武
電話 026-224-0504

○ **利用者数は昨シーズンより増加するも、一昨年度の水準には及ばず（図表 1）**

- ・2016 年度県内主要 23 カ所のスキー場利用者数は、雪不足による影響から当研究所の調査開始以来過去最低を更新した前年度(457 万 1 千人)より増加し、482 万 8 千人（対前年度比+25 万 7 千人）となった。
- ・ただし、500 万人程度とほぼ横ばいで推移していた 2012 年度から 2014 年度の水準には及ばなかった。
- ・なお、2014 年度（509 万 8 千人）と比較すると、▲5.3%の減少となった。

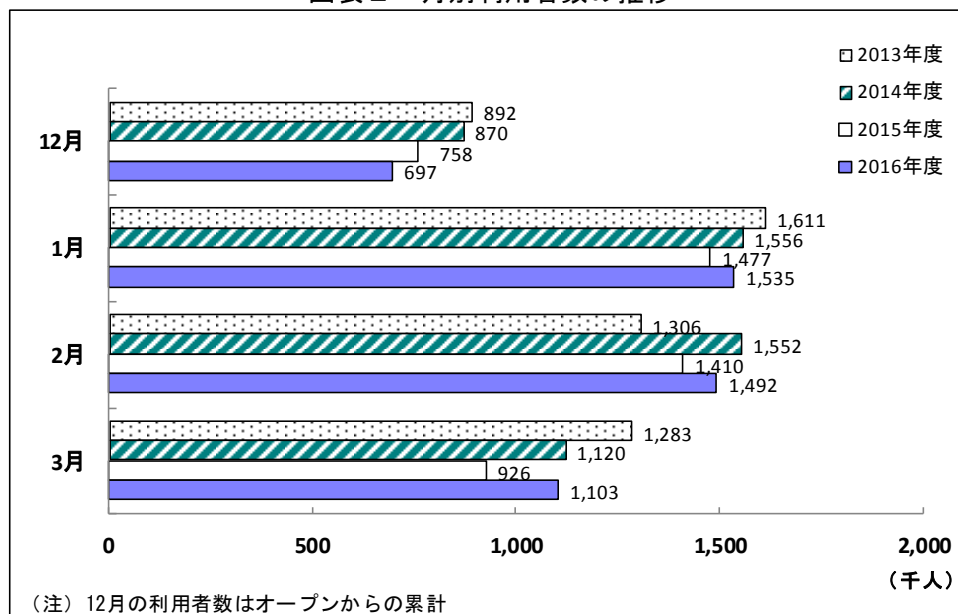
図表 1 県内主要スキー場の利用者数推移



○ **12 月は前年比減少するも、その他の月は積雪量を確保できたスキー場が多く、前年比増加（図表 2）**

- ・12 月は、雪不足の影響等から、大北地域を中心に利用が低調だったスキー場が半数近くあり、利用者数は前年よりさらに減少した。
- ・1 月は、初旬まで雪不足が続いたものの中旬以降は十分な積雪を確保できたスキー場が多く、前年に比べて利用者数も増加した。
- ・2～3 月は、週末の好天や十分な積雪により、利用者数は前年に比べて増加した。特に 3 月は、暖冬の影響を受けて前倒しで営業を終了するスキー場もみられた前年に比べて、大幅な増加となった。

図表 2 月別利用者数の推移



○ 多くのスキー場で利用者数が前年度に比べ増加（図表3）

- ・シーズンを通じて雪不足の影響を受けた前年度に比べ、17カ所のスキー場で利用者数が増加した。
- ・12月は、雪不足の影響や、昨シーズン積雪に恵まれ利用を伸ばした反動等から、大北地域を中心に前年を下回るスキー場が半数近くあったが、1月以降は、多くのスキー場で利用者数が前年比で増加した。
- ・外国人利用者はオーストラリアのほかアジア諸国を中心に引き続き堅調に推移した。大北地域や北信地域、軽井沢を中心に、台湾や中国、東南アジア諸国などアジア系の利用者数が前年度より伸びたスキー場もみられた。

図表3 県内主要スキー場 月別利用者動向

(単位：千人)

(伸び率：%)

スキー場	市町村	2016年度					前年比				
		12月	1月	2月	3月	合計	12月	1月	2月	3月	合計
佐久地域											
佐久スキーガーデン パラダ	佐久市	12	53	56	31	151	80.0	20.0	20.0	40.0	26.9
軽井沢プリンスホテル	軽井沢町	80	96	91	59	326	(15.5)	(28.1)	(36.2)	(39.7)	(28.7)
しらかば 2in1	立科町	7	21	18	12	57	▲ 11.7	▲ 13.6	12.6	31.4	1.2
上小地域											
湯の丸	東御市	27	50	43	41	161	9.8	8.5	9.9	5.3	8.3
菅平高原	上田市	28	54	85	44	210	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
諏訪地域											
車山高原	茅野市	20	38	37	25	120	▲ 16.0	6.8	21.5	16.7	7.8
富士見パノラマ	富士見町	18	53	51	27	149	▲ 13.2	11.1	8.8	8.9	6.4
下伊那地域											
ヘブンスそのはら	阿智村	7	21	17	10	55	10.9	13.0	0.4	34.3	11.7
木曾地域											
おんたけ2240	王滝村	6	14	10	12	43	▲ 44.2	▲ 28.9	▲ 18.3	▲ 3.6	▲ 23.8
松本地域											
マウント乗鞍	松本市	13	27	25	21	86	11.5	17.5	0.9	34.1	14.7
大北地域											
鹿島槍スポーツヴィレッジ	大町市	11	33	31	20	95	▲ 28.4	▲ 6.8	3.3	29.2	▲ 1.2
白馬八方尾根	白馬村	44	114	112	79	349	▲ 25.9	9.2	▲ 6.4	▲ 0.1	▲ 3.7
白馬岩岳	白馬村	7	25	44	25	100	▲ 3.8	28.5	28.2	52.3	30.5
白馬五竜・47	白馬村	47	118	106	78	349	▲ 55.9	▲ 13.6	5.3	5.1	▲ 16.4
梅池高原	小谷村	35	83	83	56	256	▲ 30.0	0.7	15.2	9.5	0.5
長野地域											
タングラムスキーパーク	信濃町	12	33	28	19	92	119.7	12.1	7.4	37.5	23.0
黒姫高原スノーパーク	信濃町	6	33	22	14	75	▲ 10.5	▲ 12.0	▲ 9.4	42.5	▲ 4.1
戸隠	長野市	13	33	30	24	100	37.7	6.2	▲ 5.9	16.7	7.7
北信地域											
戸狩温泉	飯山市	12	29	45	23	109	63.3	▲ 3.0	5.4	28.6	11.6
斑尾高原	飯山市	25	60	67	40	192	68.1	13.9	10.6	22.8	19.4
志賀高原	山ノ内町	165	270	225	231	891	1.9	2.0	0.9	16.1	5.0
北志賀高原	山ノ内町	47	145	152	137	482	▲ 14.0	3.0	▲ 1.9	44.2	8.0
野沢温泉	野沢温泉村	57	133	116	76	381	9.3	5.5	9.7	20.2	10.0
県内主要23スキー場合計		697	1,535	1,492	1,103	4,828	▲ 8.1	3.9	5.9	19.1	5.6

(資料)調査票をもとに長野経済研究所作成

(注1)四捨五入の関係から、各月の和が合計に一致しない箇所がある

(注2)12月の利用者数はオープンからの累計

(注3)「志賀高原」は志賀高原19スキー場、「北志賀高原」は4スキー場の合計

(注4)2014年度から「Hakuba47ウインタースポーツパーク」は「白馬五竜」と合算

(注5)2016年度から「軽井沢プリンスホテル」は集計方法を変更

以上